

鹿角花輪の歴史的な中心市街地の再生

地域発表会

鹿角市中心市街地は、かつては町家や蔵が集積して賑わいある場所でした。しかし、産業構造の転換や人口減少・高齢化が進み、かつての活気がなくなっています。一方で、地域には歴史的資源も未だ点在し、うまく活用と市民活動により、魅力ある都市づくりへ向けた潜在的ポテンシャルを有しているとも言えます。

秋田県立大学都市アメニティ研究室では、この鹿角市中心市街地と関善賑わい屋敷を対象とし、9月2日・3日の2日間で調査研究を行いました。今回は、その結果と提案内容を地域の皆さまにご紹介し、一緒に考える機会を持ちたいと考えています。

是非、会場に足をお運びいただき、皆さまのお声をお聞かせ下さるようお願い致します。

秋田県立大学 建築環境システム学科
都市アメニティ研究室

●日時等

10月3日（日）14:00~15:30

関善賑わい屋敷（鹿角市花輪字上花輪85）

●内容

1. はじめに

- ・主旨説明 / 秋田県立大学 山口邦雄
- ・関善賑わい屋敷より

2. 調査・研究の発表 / 研究室学生

- ① 町の環境班
- ② 屋敷の活用班

3. 地域の皆さまとの意見交換

4. まとめと今後の展開に向け

●主催 : 秋田県立大学 建築環境システム学科 都市アメニティ研究室

〒015-005 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4

TEL0184-27-2053 問い合わせ: 准教授 山口邦雄

協力: NPO 関善賑わい屋敷 TEL0186-23-7799

